

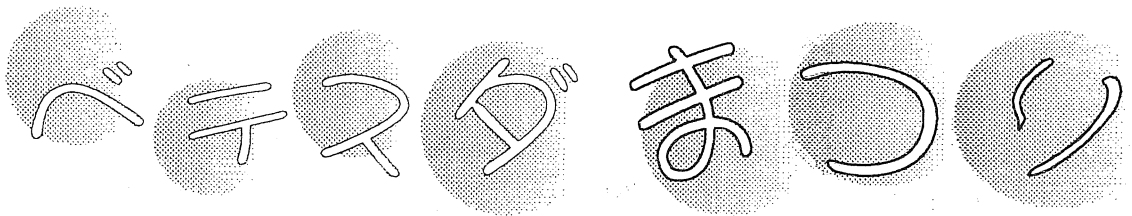
# 愛隣館研修センターニュース

第42号

〒 612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 TEL 075-621-3849 FAX 075-621-1579  
E-mail :Dayservicecenter.Airin@ma2.seikyoku.ne.jp 振替 010205-39321

編集発行人：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター

## 10月10日 (土)



「共同作業所」という言葉を皆様はご存知でしょうか。「障がい」をもつ人が通う施設ですが、福祉の制度によらない、民間の小規模なものが多く、通ってくる本人や、その家族と支援者の熱心な努力で自主的に運営されています。

私共「共同作業所ベテスタの家」もその一つ。3年前、向島に移転してきて活動を続けています。そのベテスタの家が、今秋より建物の工事を行うことになり、10月10日はその期間中のため、会場を5街区の愛隣館研修センターにお借りして作業所バザー「ベテスタまつり」を行うこととなったのです。体育の日にあたるこの日は、午前10時30分より開始。奇雑品の格安バザーやリサイクル夜料セール、焼きそば、うどん、ビール等の模擬店を企画しております。一人でも多くの方々にご来場いただきたく、ご案内申し上げます。

向島に移転してきたと申しましたが、場所は、ニュータウンからは少

しはずれ、近鉄線の西側、津田町の中に、ベテスタの家はあります。



養護学校を卒業後の重い知的発達「障がい」をもつ人が、住み慣れた地域で、暮らしていけるように、必要な援助をしていきたいと思えます。来年の4月よりデイサービス事業の委託を受けて続けていく予定です。御理解をいただければ幸いです。(ベテスタの家所長・中西昌哉)

みんな集まれ!

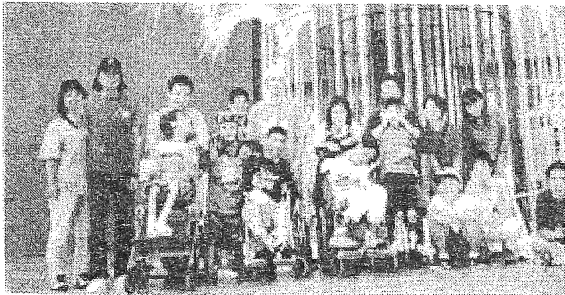
今号では、同じ向島の地にある、「ベテスタの家」が新しくデイサービスセンターを建築することになりましたので、連帯の意を込めて1面にてバザーのご案内をさせていただきました。地域福祉の充実のために共に切磋琢磨しながら歩んでいきますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

# あ～楽しかった夏!

皆さん!今年の夏も暑かったですねえ。皆さんはこの夏をどのように過ごされたでしょうか?。ここでは、センターの夏の行事の様子を、日付を追って順に、皆様方にお伝えしたいと思います。

まずは、「カクドー」(「障がい」児放課後活動)のキャンプからスタート。今年も、デイサービスのデイケア事業(センターニュース41号参照)の利用者も参加。利用メンバ17名、スタッフ14名の総勢21名で、7月23・24日の1泊2日、昨年同様、「琵琶湖子どもの国」まで行ってきました。

昨年同様、動きもダイナミックで疲れ知らずといった感じです。又、デイケアのメンバが加わったせいもあるのか、それぞれがより個性的な活動を楽しんでいるといった印象を受けました。生憎、2日目は雨に降られてしまい、水泳は取り止め。早々にキャンプ場を引き上げ、最近浜大津に出来たアーカスというアミューズメント施設によって遊んで帰ってきました。今年も最高に楽しかったです。



浜大津アーカスにて全員集合!

続きましては、アジアと日本のよりよい関係作りを目指す、**アジア国際夏期学校のベトナムセミナー**。テーマは「今、ベトナム戦争が問いかけること」で、当センターのスタッフ4名を含む総勢15

名で行ってきました。(8月11日から16日まで)

ハノイ、ホー・チ・ミンと代表的な二大都市を駆け足でめぐりました。ベトナム戦争とは何だったのか、正直結論のようなものは見つかりませんでした。約15年にわたる戦争中、アメリカ兵の死者58,200人に対し、ベトナム側は将兵110万人、民間人200万人以上が殺された重たい事実を心に留め、真の平和とは、又それを実現させていくために、自分の現場で自分の足元を常に見つめ返していくことの大切さを再認識させられた旅でした。



ベトナム・クチトンネルの入口!

そして、**CSキャンプ**。今年も世光教会のCSと合同で行ないました。今年も初級科(小学1,2年生)が例年どおり、7月30・31日に百井のキャンプ場にて開催。上級・中学科は初めてのキャンプ場、滋賀県近江八幡市にあるYMCAサバエ教育キャンプ場にて、8月22・23日の1泊2日で行ないました。

どちらのキャンプも例年に比べ、参加する子どもが激減し、少し淋しい感じがしましたが、それでも神様に守られ、子どもと大人が一緒になって遊びこむことの出来たいいキャンプになりました。

最後は、『ちょっと体験プログラム』です。今年で3年目になりますが、YMCA福祉ボランティアクラブから女子高校生5名、コーディネーター1名が、8月24日から28日まで、当デイサービスセンターを訪問され、デイサービス利用者、センター職員等と楽しい交流のひとつを過ごされました。

参加された高校生らは、初めての体験で、少々戸惑いながらも「給食サービス」の調



ゲームで盛り上がるボランティアと利用者!

理のお手伝をしたり、利用者の食事の介護をしたり、又楽しいゲームの輪に加わったりと精力的に活動しておられました。最終日には、利用者と一緒にクッキーづくりに取り組み、盛り上がりました。

研修センターの夏は、ざっとこんなもんです。楽しかったですよ!  
あなたの夏はいかがでしたか?

### Q: 介護保険制度の導入で「障がい」者の生活はどう変わりますか?

A: 2000年4月より実施される介護保険制度は、高齢化や核家族化が進み、寝たきりや痴呆性の高齢者の介護を家族だけで行うことが難しくなっている今日、介護を社会全体で支えるための新しい社会保険制度として創設されたものです。介護サービスを受けることのできる方は、65才以上の日常生活に何らかの支援・介護の必要な方。また、40~64才までの国が定める「特定疾病」を原因とする身体上または精神上の「障がい」によって要支援

## 福祉のQ&A

要介護状態になっている方々も、サービスを受けることができます。初老期の痴呆や脳血管疾患、慢性関節リュウマチなど15の疾病が現在「特定疾病」とされています。ですから、これらの方々がホームヘルプサービス（訪問介護）やデイサービス（日帰り介護）などの在宅サービスを受けられる時には、介護保険の対象者となるのです。では、これまで受けてきたサービスとの違いはなんでしょうか？一つには、経済的負担の増額があります。…続く

# 季節の味をご堪能下さい!!

## ～デイサービス厨房から～

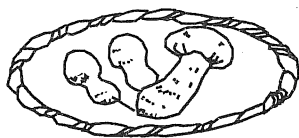
1993年7月給食中心型のデイサービスが始まりはや5年と数か月が過ぎました。それ以前の生活センター設置準備会の会食会を含むと8年程調理を担当させて頂いていることになります。

「食」は生命の綱とも申し、よりよく生きるためにも大切なものですが、一人暮らしの「障がい」者の方々は食事の準備が困難な上、栄養バランスも偏りがちです。そこで、デイサービスで食べて頂く昼食は、多種の野菜、海藻・きのこ類をふんだんに使い、肉類と魚類はほぼ半分にといいより、咀嚼・嚥下困難が起これにくい魚類を多い目に、見た目も美しく、季節感を出し、器も心のぬくもりが伝わるものをと心がけています。毎回好評の土曜日のカレーライス、大きな鍋でたっぷり作るの美味しいようです。同時に、みんなで食べるとより美味しいのです。

開所当初、1日4～5名でした利用者も今や1



日10数名となり、賑やかに楽しい雰囲気の中食事が進み、食後には男性スタッフが心をこめて入れるコーヒーかグリーンティーが味わうことが出来るのです。その後は将棋や楽しいゲームが待っているようです。心地よく食べて頂き、お腹も心も満腹になって頂けたら幸いです。



### ☆お知らせ

▽十月十日(土) 十時三十分より「ベテスタまつり」於・当センター

◇十一月一日(日) 午後二時より「ベテスタチャリティコンサート」於・呉竹文化センター(チケットあります)

### ★編集後記

▼パソコンでの編集作業もレイアウト担当の助っ人を得て、早くなってきた▼と自画自賛していたところプリンターが故障してしまった▼なんでこうなるの?▼神(紙)のイタズラ??(〇)